

## 1. 保健師とは

保健師は、地域で暮らす人々の健康づくりや疾病予防、健康課題の解決を支援する看護職です。保健師国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けて活動します。

保健師の特徴は、病気や障害のある人だけでなく、乳幼児から高齢者まで、疾病の有無に関わらずすべての人々を対象として支援を行うことです。また、個人や家族への支援にとどまらず、集団・コミュニティ・地域全体に働きかけ、人々が健康に暮らせる地域づくりを進める役割を担っています。そのため、保健師は保健・医療・福祉の関係機関・職種、地域住民と協働しながら、人々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように支援しています。

## 2. 多様な保健師の仕事と活躍の場

### ■ 地方自治体の保健師

都道府県庁、保健所、市町村保健センター、地域包括支援センター、こども家庭センターなどで地域住民を対象とした健康づくりを推進しています。乳幼児から高齢者まで幅広い世代の相談支援に加え、健康教育、家庭訪問、地域づくり、事業企画、政策立案など、地域全体の健康を支える重要な役割を担っています。

### ■ 企業の保健師

企業で働く人々を対象に、健康管理や労働安全衛生を推進します。近年は健康経営への関心が高まり、従業員の健康づくりやメンタルヘルス対策など、多様な活動が求められています。

### ■ 医療機関・健診機関等の保健師

病院や健診センターなどで、疾病の予防や早期発見、生活習慣改善のための保健指導を行います。治療と生活をつなぐ支援や社会復帰支援も重要な役割です。

## 3. 日本赤十字東北看護大学保健師課程の特色

本学では、4年間の教育課程の中で看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格を取得することができます（選択制・40名）。

赤十字の理念に基づき、公平・中立な立場で人々の健康を守ることでできる保健師の育成を目指しています。さらに、災害救護訓練やボランティア演習など、赤十字教育機関ならではの学びを通して、災害や健康危機に強い保健師を養成しています。

本学の保健師教育では、保健師に必要な以下の3つの力を重視し、講義・演習・実習を通して学びを積み重ねていきます。

地域を「みる」（アセスメント）

地域を「つなぐ」（マネジメント）

地域を「動かす」（ソーシャル・キャピタル）

また、大学周辺地域や地域包括支援センターとの連携のもと、地区診断や健康教育、健康相談などの保健活動を学生自身が企画・実践する機会を設けています。地域住民との交流を通してコミュニケーション能力を高めながら、保健師として必要な知識・技術を身につけることができます。

4. 本学の教育課程

		カリキュラム			
		1年次	2年次	3年次	4年次
基礎教育科目	前期	●健康行動学 ●心理学概論 ●哲学 ●音楽論 ●情報リテラシー ●基礎統計学 ●生物学 ●赤十字原論 ●異文化論 ●英語L・S ●赤十字国際演習(1年~4年) ●基礎ゼミナール	●スポーツ・レクリエーション実技 ●中国語 ●英語表現	●研究方法論 ●国際協力論	
	後期	●英語R・W ●教育原論	●日本国憲法 ●社会学 ●環境科学 ●医学英語	●基礎統計学演習	
専門基礎科目	前期	●人体の構造と機能Ⅰ ●生化学・栄養学	●感染免疫学 ●疫病の成り立ちと回復の促進Ⅳ精神 ●疫病の成り立ちと回復の促進Ⅴ小児・母性 ●公衆衛生学	●臓器移植 ●生活論 ●保健医療福祉行政論 ●家族援助論	
	後期	●人体の構造と機能Ⅱ ●疫病の成り立ちと回復の促進Ⅰ 病理・病態 ●疫病の成り立ちと回復の促進Ⅱ外科 ●疫病の成り立ちと回復の促進Ⅲ機能別	●薬理学 ●社会福祉概論 ●疫学 ●保健統計学		
専門科目	前期	●フィジカルアセスメントⅠ ●基礎看護学Ⅰ概論 ●基礎看護学Ⅱ看護技術Ⅰ ●地域・在宅看護学Ⅰ概論 ●赤十字救急法 ●赤十字ボランティア演習(1年~4年)	●看護展開論 ●成人看護学Ⅱ-1クリティカルケア概論 ●成人看護学Ⅱ-2慢性看護 ●成人看護学Ⅲ ●老年看護学Ⅱ ●小児看護学Ⅱ ●母性看護学Ⅱ ●精神看護学Ⅱ ●災害看護学Ⅰ	●成人看護学Ⅳがん看護・ターミナルケア ●老年看護学Ⅳ認知症看護論 ●小児看護学Ⅳ発達障がい児看護論 ●母性看護学Ⅳ女性論 ●精神看護学Ⅳ精神リハビリテーション ●地域・在宅看護学Ⅲ地域包括ケア概論 ●災害看護学Ⅱ ●感染看護論 ●赤十字健康生活支援法 ●摂食・嚥下障がい看護論 ●地域包括ケア各論 ●国際看護学 ●看護管理学Ⅰ	●看護生命倫理学 ●卒業研究Ⅰ  【看護実習】○成人看護学実習Ⅰ ○成人看護学実習Ⅱ ○老年看護学実習Ⅰ ○老年看護学実習Ⅱ ○小児看護学実習 ○母性看護学実習 ○精神看護学実習 ○総合実習
	後期	●フィジカルアセスメントⅡ ●基礎看護学Ⅲ看護技術2 ●基礎看護学Ⅳ基礎看護学方法論 ●成人看護学Ⅰ概論 ●老年看護学Ⅰ概論 ●小児看護学Ⅰ概論 ●母性看護学Ⅰ概論 ●精神看護学Ⅰ概論 ●公衆衛生看護学Ⅰ概論  【看護実習】○基礎看護学実習Ⅰ	●成人看護学Ⅲ ●老年看護学Ⅲ ●小児看護学Ⅲ ●母性看護学Ⅲ ●精神看護学Ⅲ ●地域・在宅看護学Ⅱ方法論  【看護実習】○基礎看護学実習Ⅱ	●看護研究方法論 ●フォレンジック看護論 ●看護情報学 ●看護管理学Ⅱ ●赤十字幼児安全法  【看護実習】○成人看護学実習Ⅰ ○成人看護学実習Ⅱ ○老年看護学実習Ⅰ ○老年看護学実習Ⅱ ○小児看護学実習 ○母性看護学実習 ○精神看護学実習 ○地域・在宅看護学実習	●統合看護技術 ●卒業研究Ⅱ ●看護情報学 ●看護教育学  ○卒業研究発表 ○国家試験
保健師課程	前期				●公衆衛生看護学Ⅳ 地区活動演習 ○公衆衛生看護学実習
	後期			●公衆衛生看護学Ⅱ 地区診断 ●公衆衛生看護学Ⅲ 個および 集団への保健指導	●公衆衛生看護学Ⅴ 公衆衛生看護管理

5. 自治体保健師としての主な就職先

【秋田県内】秋田県庁、秋田市役所、三種町役場、五城目町役場、男鹿市役所、大仙市役所、仙北市役所、横手市役所、上小阿仁村役場

【秋田県外】岩手県西和賀町役場、東京都三鷹市役所、愛知県高浜市役所、三重県津市役所、奈良県大淀町役場 ほか

※ 東北地方をはじめ、全国の自治体で卒業生が保健師として活躍しています。

6. 本学が育成を目指す保健師

本学では、地域住民との協働を通して、地域を「みる」「つなぐ」「動かす」力を備えた保健師の育成を目指しています。地域の健康課題に主体的に取り組み、災害や健康危機にも対応できる実践力を身につけられるよう、講義・演習・実習を一体的に展開しています。地域社会に貢献できる保健師を目指す学生の学びを、教員一同全力で支援しています。